

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	ハード・ソフトが一体となった京都府港湾（舞鶴港、宮津港、久美浜港）の振興支援											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	京都府											
計画の目標	港湾改修事業：港湾施設の建設又は改良の工事を行い、港湾利用者の利便性の向上を図る。 海域環境創造事業：宮津港内に位置する阿蘇海の良好な海域環境の創造により海域利用の増進に資するため、底質、生物生息環境等の改善を覆砂により図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,167	A	1,167	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	港湾改修事業：平成31年度末までに計画箇所（6箇所）の内6箇所の整備を行う。 港湾改修事業：H27～H31で建設又は改良を行う箇所の整備率を算出する。 （整備率％）＝（整備済み箇所）／6箇所	0%	29%	100%
2	海域環境創造事業：平成31年度末までに整備済み面積率を約94％（H27）から約100％にさせる。 海域環境創造事業：H27～H31で覆砂を行う面積の整備率を算出する。 （整備率％）＝（整備済み面積）／（全体整備面積）	94%	97%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	京都府	直接	京都府	重要	改良	舞鶴港駅物揚場 (1-A-1)	物揚場 L=340m	舞鶴港・西港地区						114		策定済
	A02-002	港湾	一般	京都府	直接	京都府	重要	建設	小型船だまり(和田)物揚場等建設 (1-A-2)	物揚場、船揚場 L=45m	舞鶴港・西港地区						245		-
	A02-003	港湾	一般	京都府	直接	京都府	重要	建設	小型船だまり(和田)防波堤建設 (1-A-3)	防波堤 L=156m	舞鶴港・西港地区						232		-
	A02-004	港湾	一般	京都府	直接	京都府	重要	改良	大野辺、下福井地区 臨港道路補修 (1-A-6)	道路 L=1,210m 橋梁2橋	舞鶴港・西港地区						84		策定済
	A02-005	港湾	一般	京都府	直接	京都府	重要	改良	大野辺棧橋 補修 (1-A-7)	棧橋 L=60m	舞鶴港・西港地区						150		策定済
	A02-006	港湾	一般	京都府	直接	京都府	地方	水質浄化	阿蘇海 海域環境整備、環境調査 (1-A-8)	覆砂 A=12100㎡	宮津港・文珠地区						150		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	京都府	直接	京都府	重要	改良	大波下導流堤	導流堤 L=300m	舞鶴港・東港地区						192	-	
											小計						1,167		
											合計						1,167		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
京都府建設交通部港湾局において事後評価を実施	令和3年3月
	公表の方法
	京都府ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間内に港湾施設の建設又は改良を行った結果、4箇所の建設又は改良が完了し、利用者の利便性が従前より向上した。 ・計画期間内に予定していた阿蘇海の覆砂事業を実施し、底質、生物生息環境等の改善に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・本計画後も引き続き、社会資本整備交付金を活用して、施設の適切な建設又は改良を実施することにより、さらなる利便性の向上を追求する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	建設または改良を行う箇所の整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	67%
2	覆砂を行う面積の整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面)



